

知ってますか
技術の

あれ
これ

10

工学の源流を探る(3) グラスゴー大学と日本



三浦 基弘
MIURA Motohiro
大東文化大学講師

イギリスという国

筆者は今から39年前の1972年、ある本でフォース橋の「人間モデル」の写真(写真-1)を発見。中央に座っている渡邊嘉一という日本人に興味を覚えた。嘉一は工部大学校(東京大学工学部の前身)を卒業後、グラスゴー大学に留学。その後、フォース橋建設に従事した。帰国後、嘉一は澁澤榮一の片腕として、鉄道建設など日本の産業界の発展に寄与した。

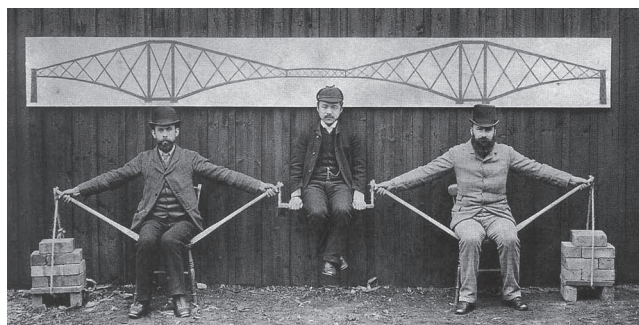


写真-1 フォース橋の人間模型(1887年 Royal Institution)
中央の人物が渡邊嘉一

この一枚の写真がきっかけとなり、フォース橋に魅せられ、そして嘉一に関心を持ち40年近く、調査・研究をしてきた。縁あってグラスゴー大学から研究員(research fellow)として招聘をうけ、1993年2月下旬から4月上旬まで約40日間、調査・研究することができた。嘉一に関しては、いずれ別稿にゆずることにし、次回に用意している拙稿を補うため、今回は明治期、日本と特に関係の深かったイギリス、とりわけス

コットランドを紹介したい。

今でもわが国ではイングランド(England)をイギリス(Britain)と同義語と思っている人が少なくない。イギリス(英国)国名は、正式には the United Kingdom of Britain and Northern Irelandで、略して the United Kingdomである。この国はイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドからなっている。イギリスはこれら4つの連合体で、現在エリザベス女王が英国王室の統合主。一方、父君はエディンバラ公(Duke Edinburgh)としてスコットランド、皇太子チャールズはウェールズ王子(Prince of Wales)としてウェールズ、アン王女は北アイルランドの「長」としてそれぞれ推戴しているのである。イギリスの国旗をユニオン・フラッグ(Union Flag)という。日本ではユニオン・ジャック(Union Jack)と呼ぶことが多い。そもそもイギリスはイングランド(England)、ウェールズ(Wales)、スコットランド(Scotland)、北アイルランド(Northern Ireland)の4つの地域から成り立っていて、元々それぞれが独立した国で、国旗を持っていた。イングランド国旗(St. George's Cross)、ウェールズ国旗(Dragon)、スコットランド国旗(St. Andrew's Cross)、旧アイルランド国旗(St. Patrick's Cross)である。イングランドが13世紀末という早い時期にウェールズを征服したため、ウェールズの国旗は用いられず、1603年イングランドとスコットランドの旗が組み合わせられ、1800年には北アイルランドの旗がこれに加わり、現在の連合国のシンボル、ユニオン・ジャックが誕生したので